

宮瀉地先潜水記録

(世界測地系)

調査実施日	令和6年1月23日
調査地点	阿児町国府宮瀉地先
構造／底質	砂泥
天候	晴れ(雲量 6)
気温	7℃
水温	13℃
最大水深	2,6m
平均水深	1,8m
潮流	—
風／波浪階級	7m／凧
透明度(透視度)	1,5m
調査潜水時間	13:50～14:40(50分)

## 概要

宮瀉地先におけるアマモ分布調査は5月に引き続き冬季調査を実施。

調査は宮瀉浜の漁港付近にて対岸方向に100mのラインを設置し、5mピッチで1㎡の枠内におけるアマモの新芽数と体高を調査した。(調査地図参照)

調査を実施したところ、アマモは5cm程度の幼体が認められる状態で、中には10cm程度にまで達したものも2株見られた。

5月のライン調査の結果では1㎡あたり100本程度が分布しているところもあった。しかし、今回の調査では1m枠内に1~4本の分布であり、少なかった。この少ない状態は岸側から沖側まで平均しており、特に濃く繁茂する個所はライン調査外でも見られなかった。また4本を確認した40mと55m地点のアマモは5月調査時でも分布が多い地点であった。

砂泥の海底全体はアオサ属が一面を覆っている。アマモはその中から芽を出しているが、これらは点在して分布し、集中する個所はなかった。なお、5m地点のアマモに食害の様な切れた状態のものが認められた。



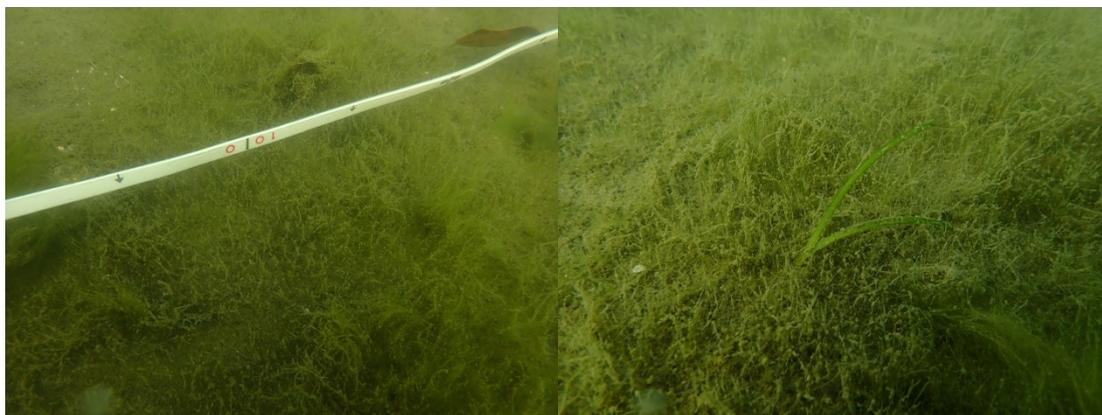
調査ライン (100m)

宮潟におけるアマモライン調査結果 (R6,1,23)

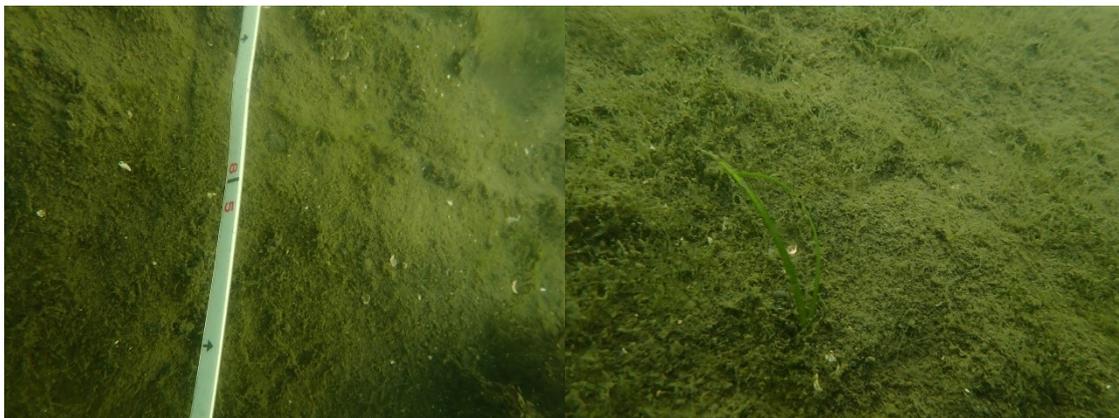
( ) 内数字は5月調査時のもの

地点(m)	全数(本)	生殖株(本)	体高(cm)	備考
0	0 (0)	0 (0)	— (—)	(5月—これより岸側にアマモは見られない)
5	1 (1)	0 (2)	5 (70)	1月—食害の可能性あり
10	5 (6)	0 (0)	5 (50)	
15	1 (4)	0 (0)	5 (50)	(5月—これより岸側全体に分布は薄い)
20	0 (42)	0 (4)	5 (70)	
25	2 (43)	0 (6)	5 (70)	
30	1 (16)	0 (1)	5 (70)	
35	2 (74)	0 (12)	5 (70)	
40	4 (88)	0 (16)	10 (80)	
45	0 (69)	0 (18)	5 (80)	
50	1 (27)	0 (3)	5 (70)	
55	4 (86)	0 (9)	5 (80)	
60	2 (101)	0 (12)	15 (80)	(5月—周辺は非常に分布密度が濃い)
65	1 (93)	0 (14)	3 (80)	
70	1 (59)	0 (8)	5 (80)	
75	2 (33)	0 (4)	5 (70)	
80	1 (66)	0 (10)	5 (70)	
85	2 (65)	0 (13)	5 (80)	
90	1 (50)	0 (13)	5 (80)	
95	0 (56)	0 (6)	— (80)	
100	2 (58)	0 (6)	5 (80)	

調査写真

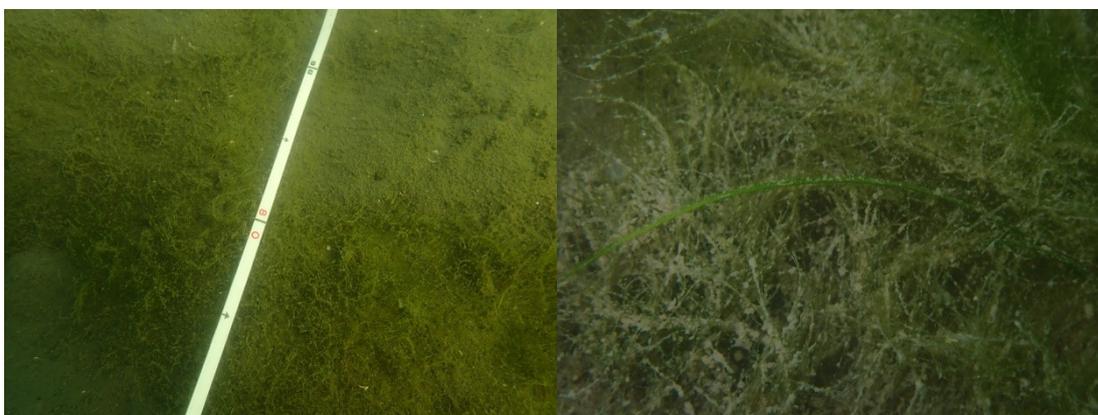


100m地点の様子



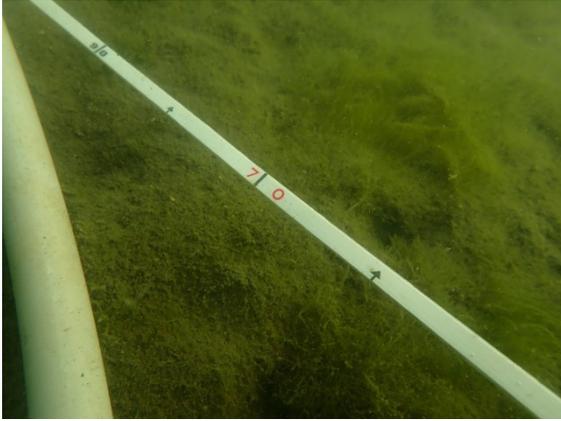
85m地点花穂の様子

85m地点の様子



80m地点

80m地点



70m地点



細いアマモ



65m地点産卵跡



葉が太いものもある



60m地点やや大きいアマモ



集中して繁茂する 50m地点



35m地点細いアマモ



30m地点



25m地点



15m地点



10m地点



5m地点食害の可能性あり